

平成26年度 財政公表

問い合わせ：財政課
 ☎ 51・2117 ☎ 55・6385
 ✉ zaisei@city.toyohashi.lg.jp
 🌐 http://www.city.toyohashi.lg.jp/2530.htm

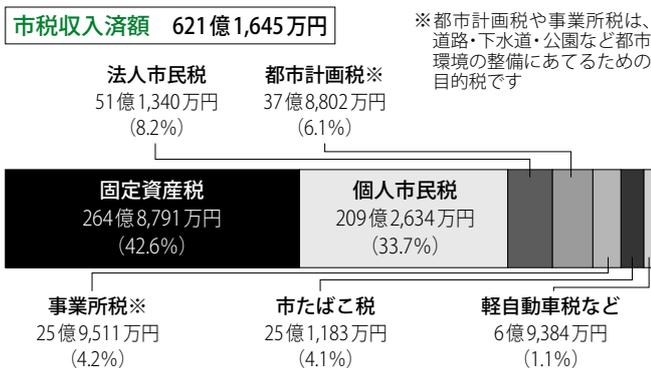
一般会計ってなに？

一般会計は本市予算の中心となるもので、民生費・教育費・衛生費・土木費など、行政を運営するための基本となる諸経費を主なものとした会計です。

収入		
内訳	収入済額	収入率(%)
市税 ※図1	621億1,645万円	98.8
国庫支出金	162億3,900万円	83.8
県支出金	49億3,605万円	53.4
地方消費税交付金	45億 832万円	96.3
諸収入	39億8,585万円	82.7
地方交付税	29億2,505万円	97.7
使用料及び手数料	26億7,544万円	90.0
その他(市債※図2など)	88億4,476万円	41.8
予算額	1,281億5,189万円	
収入済額	1,062億3,092万円	収入率 82.9%

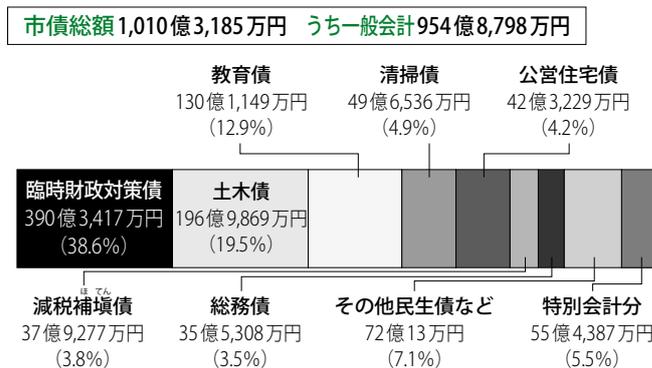
支出		
内訳	支出済額	支出率(%)
民生費	377億8,409万円	77.5
教育費	135億1,540万円	83.3
公債費	117億7,252万円	99.4
衛生費	115億8,103万円	83.4
土木費	107億4,631万円	64.9
総務費	75億8,018万円	67.3
消防費	32億2,614万円	94.4
その他(商工費など)	44億8,458万円	72.4
予算額	1,281億5,189万円	
支出済額	1,006億9,025万円	支出率 78.6%

■図1 市税収入の状況(H 27.3.31 現在)



市税は、一般会計の約5割を占めており、最も大切な財源となっています。平成27年3月31日現在の市税収入は、緩やかな景気回復基調を受け、個人市民税、法人市民税が増加したことなどにより、総額621億1,645万円となり、前年度に比べ増加しています。

■図2 市債の状況(H 27.3.31 現在高)※企業会計を除く



市債は、将来にわたりみなさんが利用する道路や公園、学校などを整備するときに市が国などから借り入れるお金のことです。返済は公債費として長期間にわたって行うこととなりますので、市では将来の財政負担が大きにならないように慎重に事業を選択し、計画的な借り入れを行っています。

これが豊橋市の財産です (H27.3.31 現在)

土地減少分(0.1%減)は主に石巻平野町地内の市有地売却によるもので、建物増加分(1.3%増)は主にくすのき特別支援学校の新築によるものです。

※()は前年比



土地
8,153,466㎡
(0.1%減)

建物
1,236,588㎡
(1.3%増)



有価証券(株券)
22億2,023万円
(増減なし)

債権(貸付金など)
25億4,908万円
(1.7%増)



出資金・出捐金
15億1,610万円
(0.02%増)

主なもの
豊橋ステーションビル(株)、
(公財)豊橋市国際交流協会など



基金
144億1,049万円
(10.4%減)

主なもの
財政調整基金、
介護保険給付費等準備基金など

市では市政への理解を深めていただくため、「豊橋市財政状況の公表に関する条例」に基づき、年2回財政状況を公表しています。今回は平成26年度予算の執行状況などを、一般会計・特別会計・企業会計に分けてお知らせします。

※数値などは平成27年3月31日現在のもので、5月31日までは出納整理の期間がありますので決算とは異なります。なお、本市の財政状況についてはホームページでもご覧いただけます

特別会計ってなに？

特別会計とは使用料など特定の収入で特定の事業を運営する会計のことで、一般会計と区別して収支経理を行っています。

会計名	予算額	収入済額	収入率(%)	支出済額	支出率(%)
競輪事業	127億7,722万円	93億5,901万円	73.2	96億3,956万円	75.4
国民健康保険事業	350億8,858万円	321億1,674万円	91.5	328億9,893万円	93.8
総合動植物公園事業	19億5,377万円	3億8,760万円	19.8	14億9,510万円	76.5
公共駐車場事業	1億9,100万円	1億8,969万円	99.3	1億8,712万円	98.0
地域下水道事業	14億2,800万円	5億6,224万円	39.4	9億977万円	63.7
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	5,274万円	7,690万円	145.8	3,460万円	65.6
介護保険	212億3,694万円	166億8,581万円	78.6	185億523万円	87.1
後期高齢者医療	68億5,000万円	32億1,063万円	46.9	64億1,772万円	93.7
合計	795億7,825万円	625億8,862万円	78.7	700億8,803万円	88.1

本市には8つの特別会計があり、企業会計を除く市予算額の約4割を占めています。

なお、総合動植物公園事業や地域下水道事業、後期高齢者医療では、一般会計からの繰入金などを5月末に収入することから、この時点での収入率が低くなっています。

企業会計ってなに？

企業会計とは独立採算制を原則とする会計で、水道料金や下水道使用料、診療収入などにより運営しています。ここでは予算の執行状況により各企業の財政状況などを紹介します。

水道事業

給水人口 37万6,476人
給水戸数 16万1,497戸
普及率 99.61% (0.04ポイント増)

下水道事業

排水人口 26万9,425人
排水面積 4,406ヘクタール
普及率 71.28% (0.11ポイント増)

病院事業

入院患者数 延べ25万8,492人
外来患者数 延べ48万4,349人
(入院2.63%減、外来0.03%減)

※()は前年比

■予算の執行状況

企業会計は、収益的収支と資本的収支で成り立っています。なお、資本的収入が資本的支出に対し不足する場合は、内部留保資金を補填財源として補填します。

<収益的収支>

企業の経営活動に伴い発生する収入(収益)とそれに対応する支出(費用)です。

収入の主なもの

水道料金、下水道使用料、診療収入

支出の主なもの

職員人件費、施設の維持管理費、支払利息、固定資産の減価償却費

<資本的収支>

施設や設備の整備拡充・改良を行うための収入および支出です。

収入の主なもの

企業債、一般会計出資金、負担金

支出の主なもの

資産の取得費、企業債の元金償還金

(消費税込み)

会計名	区分	予算額	執行額
水道事業	収益的	収入 68億7,500万 円	67億3,712万7,463円
		支出 65億5,100万 円	62億9,062万8,810円
	資本的	収入 7億3,500万 円	7億1,418万6,441円
		支出 27億6,400万 円	25億8,479万5,053円
		補填財源 20億2,900万 円	18億7,060万8,612円
下水道事業	収益的	収入 79億6,900万 円	78億2,994万4,882円
		支出 81億9,000万 円	78億8,310万3,357円
	資本的	収入 25億2,500万 円	22億5,502万8,516円
		支出 50億5,467万 円	46億2,236万6,182円
		補填財源 25億2,967万 円	23億6,733万7,666円
病院事業	収益的	収入 269億9,500万 円	265億5,449万5,157円
		支出 312億4,059万7,000円	303億305万4,651円
	資本的	収入 9億6,100万 円	9億6,842万1,129円
		支出 26億1,639万 円	25億6,664万1,593円
		補填財源 16億5,539万 円	15億9,822万464円